

新しい研修センターについて説明を受ける

4月18日、本部は「新しい研修センターについて」会社から説明を受け、議論をしました。新しい研修センターは、現在三島にある三島社員研修センターの敷地内に建設がすすめられています。これに伴い、名古屋の研修センターは、廃止され、新しく「総合研修センター」として9月末日に開所することとなります。以下議論の内容です。

研修センターの収容規模は1,110人

組合：新しい研修センターは現在の三島研修センターの訓練線の上に建設しているのか。

会社：現行の三島研修センターの南側に建設している。

組合：寮は研修生用525室、身障者用12室、講師用48室と説明したが、部屋は2人部屋となるのか。

会社：2人までは使用できる。身障者用は個室である。

組合：収容人数が1,110人であるが稼働率はどの程度になるのか。

会社：新入社員が入ると、フルとなる。その時以外は稼働率は落ちる。

組合：多目的室を3室設置するが、何人入るのか。

会社：一室100人が入る。繋げると300人が収容可能である。

組合：現行ある研修センターとの規模など比較をするとどうか。

会社：700人半ばの規模が1,110人となる。教育数は増え大きくしている。設備は、新設をする物と移設する物がある。移設する物は変わらない。総合訓練装置や新しくする。シミュレータは移設する。訓練線は、4線に集約する。分岐器や模擬架線は新しい物を入れた。

組合：総合訓練装置とはどのようなものか。

会社：乗務員、車掌、指令、駅の統一した訓練ができる装置である。また、故障等の仮説の設定もすることが出来る。

組合：シミュレータの設定は線区別の設定は出来ないのか。

会社：研修センターは新人養成をするところであり、線区別の設定は多岐にわたることとなるので、そこまではやっていない。

組合：これまで以上に本体とグループ会社が一体となって、安全、規律、技術力等の向上に関する教育を実施すると説明したが、グループ会社の人も研修センターで教育をするのか。

会社：これまで通りグループ会社の人も教育をする。

組合：具体的にはどこの会社か。

会社：車両では、CKKやSEKである。電気は双葉やCNである。

組合：教育の中にグループ会社も規律がある。規律は各社がやることである。規律はいらないのではないか。

会社：鉄道にとって重要なキーワードであると思う。グループ会社にとっても大切なことだと思う。グループ会社個々がやるといえば会社が一体となってやっていく。

組合：規律については、グループ会社と一体となってやっていくものではない。

会社：安全、規律、サービスについては一体となってやっていく。

組合：訓練線に車両は置かないのか。

会社：研修センターには、現車を使った訓練はない。

組合：現車研修は、区・所・車両所で行うということか。

会社：その通りである。

組合：訓練線は、どこに設置するのか。

会社：新しい研修センターのとなりに設置する。

組合：マルス訓練装置、出改札訓練装置などが設置されるが、具体的には何か。

会社：最新型のマルス装置、入出金機、自動改札機、ATVである。

組合：台数は何台か。

会社：マルス装置は数十台、入出金機数台、自動改札機数台、ATV数台である。

食堂は一度に400～450人食事時間を分けてとる

組合：研修センターの省エネルギー化と説明をしたが、どの程度の省エネルギー化となるのか。

会社：今よりは、氷蓄熱式空調システムの導入、日除ルーバーの設置、屋上庭園の配置による建物空調負荷の抑制などにより逡減化が図られるものである。

組合：可能な範囲で在来線・新幹線の共通カリキュラムの合同実施を行うとしているが、具体的にはどのような事か。

会社：安全、労災、など一緒にやっていきたい。

組合：充実したオープンスペースにより在来線・新幹線社員の相互理解・一体感が向上としているが、充実したオープンスペースとはどのようなスペースか。

会社：これまでは、談話室に仕切りを設けていたが、オープンスペースとして、共有出来るものとした。

組合：研修生は食堂を利用することとなるが、1,000人が一度に入るのはタイトとならないか。

会社：食堂は一度に400～450人が食事を取れる。食事時間を分けてとることとする。

組合：グラウンドは、残るのか。

会社：グラウンドは、そのままとなる。

組合：現在の研修センターの建屋は、どうするのか。

会社：撤去することとなる。

組合：名古屋の研修センターも含めて撤去した場所の利用はどうするのか。

会社：検討中である。

組合：体育館の規模はどうか。

会社：一度に入社式が出来る大きさである。

組合：内燃車の現車実習は名古屋までいくこととなる。どのようなカリキュラムを組むのか。

会社：研修時間は減らさないようにする。

組合：三島から名古屋まで行くこととなる。時間がかかる。研修時間は減ることはないのか。

会社：研修時間は減らない。出張となる。

組合：三島の研修センターに内燃車を置いてはどうか。

会社：稼働効率がある。研修センターでやること、現場でやることを組み立ててやっていく。

総合研修センターのセキュリティ対策は！

組合：総合研修センターのセキュリティはどのようになっているのか。

会社：研修センター入口には全日警にお願いをする。フラッパーゲートも設置する。

組合：門限はあるのか。

会社：門限は22時30分である。

組合：会社の研修センターをアピールするために一般見学及び社員の見学は出来ないか。

会社：一般的には考えていない。

組合：要員体制について、管理部はどのような仕事をするのか。
会社：管理課と研修室を管理部と研修部とした。管理部は総務、庶務の仕事である。
組合：業務量増に伴うプロジェクト要員を配置するとしているが、具体的には何か。
会社：乗務員養成も今年度は増やしているため乗務員養成が入る。
組合：寮の管理は何処がやるのか。
会社：SMTとなる。
組合：10階建の研修センターと寮の配置はどのようになっているのか。
会社：5階から上が寮となる。4階までが教室・食堂・体育館となる。
組合：お酒が飲める場所はあるのか。
会社：お酒の飲めるところはある。
組合：パソコンは持ち込めるのか。
会社：個人のパソコンは持ち込みは出来る。

安全・耐震・停電時の対策は万全か！

組合：平成23年度定期異動日に総合研修センターが発足、一部使用開始し9月末に開所するとしているが、研修センターを使用している中で、隣で工事をしていることなどはないのか。
会社：その様なことはない。
組合：研修生が異動する通路など工事中の箇所はないのか。
会社：それはない。入所エリアとは分けている。
組合：安全に問題はないのか。
会社：建物は出来ている。大々的な工事はやっていない。現在の研修センターからの移転の作業をやっているので問題はない。
組合：耐震対策はどの程度なのか。
会社：免震構造である。
組合：停電の時の外部電源はどうなっているのか。高層住宅では水が上がらない。
会社：非常用電源は準備している。
組合：今後、問題点等あれば申し入れをしていく。

以上